

# 指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立市民健康文化センター
指定管理者名	市民健康文化センター運営共同企業体(公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社明治スポーツプラザ)
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため (相模原市立市民健康文化センター条例第2条)
施設概要	・所在地 南区麻溝台1872-1・敷地面積 7,987.76㎡・建物面積 4,080.63㎡・延床面積 6191.22㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨(地下1階 地上2階) 1階 プール、浴室、多目的広場、多目的会議室1、カフェ 2階 多目的会議室2、茶室、講習室1・2・3、工作室(陶芸窯)、展示コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	324,672	333,085	292,998	83,399	147,733	205,863	
利用料金合計(円)	50,027,328	52,344,856	47,164,171	14,533,689	28,588,160	41,145,825	

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<p>・指標1は、令和2年度及び3年度と比べ、徐々に回復してきているものの、コロナ禍前の水準には届いておらず、目標値を下回っている。前年度とは異なり施設休所や利用制限は無かったものの、繁忙期である夏場の7月から8月にかけてコロナ感染者が増加し年間利用者数にも影響したが、利用への心理的抵抗が大きかったことも要因と想定され、必ずしも指定管理者の責めによらないものと考えられる。</p> <p>・指標2は、実績値が大幅に増加し、目標値を達成できた。教室の参加者数が徐々に回復してきたことや、スカイウェルやアクアビクス等の無料教室を安価で有料化する等、工夫を図った結果が目標値の達成に繋がったものと考えられる。2つの指標の平均が94.4%になることから、B評価とする。</p>

### 指標1

指標名(単位)	プールの利用者数(人)
指標式と指標の説明	市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進を達成させるため、成果指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	115,000	117,000	131,000	22,944 (132,000)	68,757 (133,000)	134,000	135,000
実績値(人)	129,926	137,955	125,792	31,287	60,451	87,070	
達成度(%)	113.0%	117.9%	96.0%	136.4%	87.9%	65.0%	0.0%

指標 2							
指標名 (単位)	自主事業の参加人数(人)						
指標式と指標の説明	市民健康文化センター全体の諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	16,800	17,000	26,500	4,417 (26,500)	13,515 (26,500)	26,500	26,500
実績値 (人)	25,989	29,662	28,252	3,583	14,368	32,806	
達成度 (%)	154.7%	174.5%	106.6%	81.1%	106.3%	123.8%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p><b>【健康増進のための空間づくりの事業】</b>            コロナ禍により、教室等への参加者数が回復しづらい中、夏休み早朝水泳教室やヨガ教室、子ども体操教室等、参加予定人数を超えている事業もあり、一定の参加者を確保している。更に、キッズダンス教室やドッジボール体験教室等の新規事業でも参加者を確保できており、利用者のニーズを捉えた事業展開がされている点を評価し○評価とする。</p> <p><b>【文化の醸成・創造活動へのサポートの事業】</b>            令和4年度は令和3年度と比較し、文化・創造活動に資する事業数を6事業から12事業に増やし、新規事業を積極的に実施している。季節ごとに事業を展開し、参加者を一定数確保しているため、○評価とする。今後は、収入確保に繋がる有料事業の展開や幅広い世代を対象とした事業を増やす等、更なる事業展開に期待したい。</p> <p><b>【地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業】</b>            無料で設置していたスカイウェルを、機器の更新に合わせ、設置場所の変更や有料化したことにより、年間で一万人を超える参加者を確保するとともに、居心地の良い空間の創造や収入の確保を図った点を評価する。これを契機と捉え、スカイウェル以外の施設利用の促進や、利用者間のコミュニティを活用した事業を展開する等、更なる事業の発展や施設のコンセプトに則した新規事業の展開に期待したい。</p> <p>また、コロナ禍で開催中止としていた、健文祭を3年ぶりに開催し、1,200人を超える来場者を動員し、地域や利用者へ還元を行った。この他、夜間に利用予定のない講習室を自習室として無料開放する等、若者の施設の利用促進や地域住民への貢献に努めている点を評価し◎評価とする。</p> <p>引き続き、新規利用者層の開拓や収入の確保に繋がる事業を展開し、施設の魅力づくりに努めていただきたい。</p>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
健康増進のための空間づくりの事業	4月～3月	プール教室や体操教室等の事業 (26事業)	○
文化の醸成・創造活動へのサポートの事業	4月～3月	装飾品の製作教室等の事業 (12事業)	○
地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業	4月～3月	ふれあい広場を活用した作品展示や近隣施設と連携したスタンプラリー等の事業 (24事業)	◎

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に対しては1ポイントと僅かに下回ったものの、令和3年度から1.1ポイント増加し、満足度を維持できた。</li> <li>・インターネットによる回答が、全体の4割を超えていることから、施設のSNSが利用者に普及してきていることが考えられる。また、インターネット回答方法の導入により、年々、自由意見の件数も増えているため、より詳細なニーズが把握できるようになっている。引き続き、ニーズの把握に努め、調査結果を踏まえて新規事業を展開する等、結果を反映させることで、より良い施設運営に期待したい。</li> </ul>

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施(634件)(令和4年7月～8月)
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	83.2	91.6	90.8	69.9	87.9	89.0	
達成度（%）	92.4%	101.8%	100.9%	77.7%	97.7%	98.9%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	文化事業開催時	参加教室に関してのアンケートを実施。(文化教室のみ)教室終了時に回収。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>C</b>	<p>本体事業収支及び全体収支が赤字であり、指定管理者の団体本体の経営状況について若干の懸念があるため、C評価とする。赤字の要因として、コロナ禍の利用者減少による利用料金収入の減少や原油価格・物価高騰等により、光熱水費が大幅に増加している点が挙げられるが、指定管理者の責めによらないものとする。</p>

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入 (a)		201,666	205,702	196,153	
	指定管理料	153,475	147,779	147,808	
	利用料金収入	14,533	28,588	41,145	
	その他の収入	33,658	29,335	7,200	
支出 (b)		188,832	212,155	239,934	
	人件費	89,177	96,995	105,987	
	本社管理経費	8,602	8,781	8,879	
	その他の支出	91,053	106,379	125,068	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		12,834	-6,453	-43,781	
自主事業収入 (d)		5,633	15,051	23,268	
自主事業支出 (e)		2,840	3,521	5,775	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		2,793	11,530	17,493	
全体収支 【(c)+(f)】		15,627	5,077	-26,288	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和4年7月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	×
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設閉鎖はなかったが、施設の利用者数は感染者数の動向に振り回される状況が続いている。そのため、成果指標のプール利用者数は目標値の65%の着地となったが、自主事業の参加人数はスカイウェルやアクアピクスを安価な有料事業に変更した効果が表れ、目標値の123.8%にあたる32,806人となった。

これは、コロナ禍以前よりも多く、過去最高の人数となる。また、課題である夜間の時間帯や若年層の利用促進を図るため、11月からは予約の無かった講習室を自習室として無料開放、ダンスサークルやコスプレイベント会社に貸室利用のPRをした結果、10～20代の施設利用者が順調に増加している。

また、相武台小学校の着衣水泳教室と水泳授業の受入れや、さがみ風っ子展への共催など、市教育委員会と連携した事業にも取り組むとともに、自主事業の見直し、新しい施設利用者層の掘り起こし、キャッシュレス決済の導入など、アフターコロナに向けて、施設の利用者増加に繋がる取組みについて、積極的に対応を図った。

## 10 所管課意見

- ・コロナ禍の影響が残る中で、利用者確保や施設サービスの向上に工夫して取り組んだ点を評価する。
- ・新規利用者の獲得に向け、さがみ風っ子展の展示会場や小学校水泳授業の受け入れ等、施設の認知度向上に繋がる取り組みを行った点や、若年層の施設利用促進のため、自習室の無料開放を行った点を高く評価する。
- ・コロナ禍で開催中止としていた、健文祭を4年ぶりに開催し、1,200人を超える来場者を動員し、地域や利用者へ還元したことや、利用者の利便性向上に向け、キャッシュレス決済の導入等、施設サービスの向上に努めている。
- ・引き続き、施設の利用者確保に向けた取り組みや、新規利用者層の開拓、自主事業や施設の新たな活用方法等の展開に期待したい。

## 11 選考委員会意見

- ・コロナ禍や原油価格・物価高騰の影響により、経営状況が安定しない中、自主事業において収益を上げている点を評価する。
- ・昨年度のモニタリングにおいて、課題と認識していた若年層の施設利用について、施設の認知度を高める新たな事業に取り組み、結果、若年層の施設利用が増えている点を評価する。
- ・スカイウェルの有料化等により、一定の参加者を確保できたことを契機と捉え、スカイウェル以外の施設利用の促進や、利用者間のコミュニティを活用した事業を展開する等、更なる事業の発展に期待したい。
- ・利用者満足度調査の分析結果を踏まえ、市民のニーズや施設のコンセプト、設置目的に則した事業展開に期待したい。

### 総合評価（自動判定）

**B**

(55/100)

